



第5回 講演会のお知らせ

ITの最先端で働く選択肢

現在、世界時価総額トップ10の中に米国IT企業が5社入っており、それらはGAFA、GAFAMなどと呼ばれている。様々なメディアで真実と誇張が混ざりあった情報が伝えられている。本講演では、ソフトウェア開発手法、入社試験、成果主義、レイオフなどの米国企業における日本企業との違い、それを支える米国的価値観とその中で働く多国籍な人々、海外で働くことのメリットとデメリットを紹介する。海外でのキャリア構築に興味を持つ学生の方々のイメージがより明確になり、海外勤務を自分にとっての選択肢として検討できるよう、誇張やバイアスを出来るだけ排したフラットな情報を提供する。

講師

Google
Senior Software Engineer / Tech Lead

竜盛博 様

略歴:

宮城県仙台市出身。宮城県仙台第一高等学校卒業、東北大学工学部情報工学科卒業、東北大学大学院情報科学研究科修了。修士(情報科学)。幼稚園から大学院まで、通った学校全てが半径3kmの円内に収まっている。日本ヒューレット・パカード社在籍中に米国駐在。日本帰任後に米国移住を決意、以来転職を繰り返し、Agilent Technologies (旧 Hewlett-Packard Company)、Amazon、Microsoft を含むシリコンバレー・シアトルエリアの会社6社で勤務。現在 Google にて Senior Software Engineer / Tech Lead として働く。著書「エンジニアとして世界の最先端で働く選択肢」(技術評論社)。

2020

12/15 TUE

14:00-16:00

Webシステムを利用

参加申込

本講演会はどなたでも参加できます。参加希望の方は以下のウェブページから参加登録して下さい。

<http://www.aie.tohoku.ac.jp>

